



交わる

ANAホールディングス

魅力あふれる「第二のふるさと」をつなぐ心の翼に

アフターコロナの新常態を見据えた地域活性化・関係人口拡大策として、ANAグループが取り組んでいる2つの事例を紹介したい。

WonderFLY

ANAのクラウドファンディングWonder

FLYは、エアラインANAがこれまで培ってきた地域との関係性や顧客基盤を活用し、地域に眠る魅力あるモノやサービス、活動等を発信し、地域のファンづくりをするツールとして機能させることを目指している。そのため、挑戦する人の想いにフォーカスし、人柄や熱量を感じるプロジェクトづくりを心掛けている。

例えば、兵庫県北部にある香美町小代という地域で民宿を運営している松田屋さんには、コロナで打撃を受けた民宿経営を支えるために、地域の名産品である「但馬牛」を使った新商品を開発する際に、この仕組みを活用してもらった。プロジェクトページでの松田屋さんの熱い想いが伝わり、県外のファンづくりに成功した。クラウドファンディングでの支援をきっかけに、

松田屋さんを訪れることで、小代という場所が支援者にとつての「第二のふるさと」になり、関係人口化することを期待している。

ANA meets ART "COM"

アートを通じて地域の姿を再認識、その魅力を創出・発信していくプロジェクト「ANA meets ART "COM"」。2020年度は、「アーティストインレジデンス」「ピエンナレ」「ワーケーション」を掛け合わせた取り組みを実施。総勢20名のアーティストを長野県塩尻市・鳥取県鳥取市・広島県三原市の3地域に招聘して、地域での滞在からインスピレーションを得た作品を制作・展示した。アートという新たな視点で地域を切り取ることで未開拓の地域資源の発掘はもちろん、「地域住民の意識の変化」もみられた。見慣れた風景が、アーティストによって全く新しい光景のように切り取られ作品となることで、地域住民が改めて地域について考え、可能性を見出すきっかけを作ることが出来た。アートを通じて地域を見直すことは地域住民の意識の覚醒、そして内発型の魅力発信にも繋がってくと考えている。

ANAグループの地域創生を担う会社として「ANAあきんど」が2021年4月に立ち上がった。これまで以上に地域の皆様と一緒に、地域課題に向き合いながら、地域と世界を繋ぐ翼となつて、日本の元気な未来づくりに貢献していきたい。